

ほうでえ～

ありや～のう

周防大島町の話題

放置竹林の問題解決に向けて

5月11日、大島文化センターにおいて、周防大島ふるさとづくりのん太の会主催の竹問題講演会が開催されました。

「環境と観光と地域づくり」と題し、天竜川鷺流峡復活プロジェクト代表で天竜川下りの船頭さんでもある曾根原宗夫さんから、天竜川鷺流峡の放置竹林による景観悪化やゴミの不法投棄の問題解決に向けて、地域と取り組んだ竹林整備について講演がありました。また、国産メンマの商品化や竹のエネルギー活用など、竹を資源として活用する取り組みについても紹介されました。

講演の中では、竹林整備の作業だけでは、いやになり続かなくなる、遊ぶことも大切との話もあり、竹を組んで作った筏での川下りや、竹で作った網で作業後のバーベキューを楽しんでいることも語られました。



◀天竜川鷺流峡の竹問題への取り組みについて講演する曾根原宗夫さん



安全運転をお願いします

5月20日、西方地区の国道沿いで交通安全キャンペーンが実施されました。

キャンペーンは5月11日から20日に行われた「春の全国交通安全運動」にあわせて開催され、関係者の皆さんは、ドライバーへ交通安全グッズを渡しながらか「安全運転をお願いします」と交通安全を呼びかけました。



◀交通安全を呼びかけました

住み慣れた地域で

5月26日、大島文化センターにおいて、大島郡医師会主催による大島医学会が開催されました。特別講演では、「住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために～永源寺の地域まるごとケア～」と題し、東近江市永源寺診療所所長の花戸貴司先生が永源寺地域で行われている在宅医療について講演しました。

講演の中で、在宅医療は医師一人ではできない、仕組みづくりが必要との話がありました。寝たきりや認知症、老夫婦、一人暮らしであっても在宅で生活することは可能であるが、そのためには、医師、看護師、薬剤師、リハビリ、ヘルパー、デイサービス、ケアマネージャー、行政、ご家族、ご近所の方などの支えと連携が必要ということです。

また、「自分が将来、年をとった時、介護が必要なときは、こういう風にしてほしいというのを家族の方やいろんな人に伝えてほしい」と、普段から家族の方などと話し合っておくことが大切であることを話されました。



◀永源寺地域の「地域まるごとケア」について講演する花戸貴司先生

